

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 国語演習

教科：国語

科目：国語演習

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：（ 上田 明海 ）

使用教科書：（「国語表現」大修館書店 「必携 国語常識ベーシック」数研出版）

教科 国語 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語化活動を通じて、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語演習 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元【第2部】表現で楽しむ 言葉遊びをとおして、言葉に興味を持ち、語彙を広げて、言語感覚を豊かにする。	・教材：言葉で遊ぶ ・「雑読三字熟語」（言葉遊び） ・「三字熟語DEものがたり」	○	○		【知識及び技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、言葉遊びの中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、語句や表現の組み合わせなどを工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉遊びに興味を持ち、意欲的に活動に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	B 単元【第1部】表現力を培う ・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。	・教材：言葉と表記		○		【知識及び技能】 ・言葉や表記の大切さを理解している。 ・適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において自分の思いや考えを明確にし、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	C 単元【第1部】表現力を培う ・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による分のつながりを理解する。	・教材：文のつながり方		○		【知識及び技能】 ・接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し文章全体を整えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文と文のつながり方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	D 単元 自己PRと面接 ・自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事象やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	・教材：効果的な自己PR	○	○		【知識及び技能】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、話題を吟味している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すこと・聞くこと」において、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・効果的な自己PRをすることに興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	E 単元 自己PRと面接 ・志望先についての情報を適切な方法で集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結び付けて、説得力ある志望理由を書く。	・教材：志望理由を書こう		○		【知識及び技能】 ・「書くこと」において、志望先と自分に関わる適切な話題を吟味している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	F 単元 自己PRと面接 ・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方で答える。	・教材：面接にチャレンジ	○			【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、場面、相手、手段に応じた適切な表現を理解して使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、同意や共感が得られるように表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味を持ち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。	○	○	○	8

[illegible]